

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月16日(木)

事務事業		深谷消防署資器材管理事業		担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	4518	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・消防法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		資器材管理事業とは、住民の生命、身体及び財産を守るために火災、救急、救助等の災害活動時や訓練時に使用する資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施し、多種多様な災害現場に対応できるよう活動体制を整備するものである。								
目的 ※何のために		災害から住民の生命、身体及び財産を守るため。								
対象 ※誰・何を対象に		隊員が災害活動時または訓練時に使用する資器材等。								
手段 ※どのように		資器材の購入、更新、修繕及び保守点検を実施する。								
成果 ※何を求めるか		活動体制を整備し消防力の強化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	深谷消防署資器材管理事業	11,005,703
本事業の 主な業務		・各種資器材の購入及び更新							・	
		・各種資器材の保守点検							・	
		・各種資器材の修繕							・	
		・災害対策に関する消耗品及び備品の整備							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・酸素呼吸器・空気ボンベ・消防ホース	・化学防護服・空気ボンベ・消防ホース	・化学防護服・空気ボンベ・消防ホース	・化学防護服・空気ボンベ・消防ホース	・空気ボンベ・消防ホース	・空気ボンベ・消防ホース
事業費	予算(現額)	11,116,000	10,308,000	11,186,000	12,640,000	11,266,000	8,778,000
	決算額	11,004,476	10,196,565	10,882,041	12,177,286	11,005,703	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	177,650	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	2,279,000	2,946,570	2,704,868	2,956,000	2,652,796
	一般財源	8,725,476	7,249,995	8,177,173	9,043,636	8,352,907	6,992,000
人件費	従事職員数(人)	1.10	0.60	0.90	1.00	1.00	1.00
	人件費相当試算※	8,556,900	4,669,200	10,536,500	8,136,000	7,761,915	8,131,348
総事業費試算		19,561,376	14,865,765	21,418,541	20,313,286	18,767,618	16,909,348

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	備品購入品目数		目標値	品目	8	4	5	5	4	4
			実績値		3	4	5	5	4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		資器材維持管理計画に基づく購入品目数とする。 / 備品購入品目数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	保守点検実施率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		呼吸・循環管理用資器材等の保守点検実施率 / 保守点検品目数／実施数×１００							
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材故障時における修繕率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		資器材の故障に対する１００％の修繕を目標とする。 / 修繕数／故障件数×１００							
	実績値の算出式									
成果指標 2	災害時における資器材作動率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		災害時における資器材１００％の作動を目標とする。 / 使用数／災害数×１００							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	備品の購入及び資器材の保守点検を目標通りに実施できている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	故障等の使用不能となった資器材について、修繕や更新等の対応を適切に実施することで、災害時における資器材の作動率100%を達成した。
			評価者 補佐兼管理係長 青木健一

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	同一契約業務を持つ花園消防課と消耗品類等を一括契約することによって、契約事務の軽減や予算執行を効率的に実施することができた。
			評価者 補佐兼管理係長 青木健一

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	引き続き、新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るっている状況であり、今後もこの状態が続く事が懸念される。安定的に市民の安全、安心を守るためには今ある資器材の適正管理だけではなく、感染防止資器材の充実強化が必要である。
達成状況及び その効果	計画的に資器材の適正管理を実行し、感染防止資器材の充実により、活動において職員の感染防止が図られた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	深谷消防署資器材管理事業	担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	4518
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>各種災害現場や訓練等で必要とされる資器材の更新や保守点検を計画的に実施し、万全な活動環境を整備、維持することができた。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	深谷消防課長 鴻野匡志				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	未だ新型コロナウイルスが収束していない状況により、消耗品や各種資器材の購入に関して、輸送費や原材料費等の上昇により価格が高騰し、前年度同様納期に時間を要している。このような状況を解消もしくは、軽減し、安定的な供給を確保するためには、同一内容の契約事務について、引き続き一括契約などにより購入価格を抑制し、納期の安定を図る。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	感染防止資器材等の供給や消耗品や各種資器材の購入に関して、前年度の取り組みに対しての調査、改善策を検討する。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	備品購入品目数
区分	成果指標 1	指標名	資器材故障時における修繕率